

## 平成18年度 第1回常任幹事会議事録

能代高校東京同窓会

日時：平成18年2月4日（土） 14:50～16:15

場所：日本橋社会教育会館 7階 第一洋室  
中央区日本橋人形町1-1-17

出席：出席者 9名

山縣輝輔24・佐々木章26・太田勝治29・宮腰興紀29・大塚進39・  
菅原渉39・石井喬46・吉田真由美46・三浦洋45

（オブザーバー 11名）

西川廣正34・金野峻明39・小河範也41・和平忠幸47・田村盛仁49・

片谷浩之49・松永京子49・淡路和子55・大高忠勉62・福本円63・小野立67

議事録署名人：佐々木章26・大塚進39

議事録作成：吉田真由美46

### 1. 会長挨拶

幹事に先立ち、太田勝治会長より挨拶が行われた。

### 2. 組織、総務、広報、財務の各委員会

幹事に先立って同所で各委員会が開催された（13:40～14:45）

菅原幹事長が議長を務め、常任幹事会の議事に入った。なお、オブザーバー全員が常任幹事と同等の立場で議事に参加した。

### [報告および審議事項]

#### 1. 総会や同窓会活動に若年層の参加を促すための工夫について

能高五日会（青年婦人部会）からの提案を吉田真由美副幹事長が報告し、その報告を基に審議が行われた。

主な項目は次の通り。

ホームページで、若い人が興味・関心のもてる情報を流す。

能高五日会のメンバーがきめ細かく声をかける。

初めての人が参加しやすい条件を考える。

連絡先の把握。

に関して広報委員会から、若い人や女性がアクセスしやすいようなブログを開設するとの提案がされた。

に関して、能高五日会が能代高校東京同窓会の下部組織であるという位置づけのほうが各方面にアピールしやすいとの提案があり、今後とも五日会は独立した活動を行うが、形の上では下部組織とすることが認められた。

に関して、総会に初めて出席する者の特典として、初年度にかぎり年会費を無料にすることを可決し、次回幹事会で承認を得ることになった。

また、恩師が参加することの効果を考え、本部の同窓会と連絡を取り合い、本校からの出席者の情報を事前に流すことを試みることになった。

その他、初参加者が次回からも参加してもらうためには、歓迎しフォローすることが大事であると確認された。

これ以後、常任幹事会に先立ち行われた各委員会からの報告を基に、全員で質疑応答をする形で議事が進められた。

## 2. 組織委員会からの報告（報告者：宮腰興紀委員長）

[出席者] 宮腰興紀委員長・小河範也副委員長・和平忠幸・大高忠勉

### 【議題】平成18年度総会の概要について

（開催日：10月7日土曜日 12:00～16:00 アルカディア市ヶ谷）

当番期は、今後の参加者を増やす意味からも続けることにする。  
今年度の当番期は28期、38期、48期であるが、組織委員会は全面的に協力する。

今年度も講演会を行う。  
懇親会の食事の開始が遅くなりお昼時からずれてしまうが、あらかじめ案内すれば問題ないのではないか。

講演会の講師は、次の3人を候補に考えてみた。

- ・山田久志氏（野球評論家）今回野球殿堂入りしたので、その祝賀を兼ねて。
- ・木本雄吾氏（つくば宇宙センター）本校80周年記念式典でも講演した若き科学者。
- ・若松正雄氏（シダックス株副社長）今年の能代商工会議所、新春講演会の講師。

規約改正により今年度の総会は議長を選任する形になるので、例年よりも15分程度時間を多目にとる。

懇親会でのイベントについては、ビンゴ、初参加者の紹介とインタビュー、水森かおり氏（「五能線」で紅白出場の演歌歌手）の歌などを検討中。

本校からの来賓へのお土産は必要ない。

本校からの来賓への二次会の接待は、会としては必要ない。

当日の大まかな時間割は、次の通り。

12:00～12:40 総会  
（休憩5分）  
12:45～13:30 講演会  
（休憩10分 懇親会準備）  
13:40～16:00 懇親会

なお、講演会の講師および懇親会のイベントについては、広く他の幹事からも意見を聞き、案を募った方がもっと良い案が出てくると思われる。  
これらについてはまだ時間があるので、更なる検討を加えていきたい。

## 3. 総務委員会からの報告（報告者：吉田真由美 \*記録を取った関係でオブザーバーではあるが大塚委員長の指示で報告した）

[出席者] 大塚進委員長・西川廣正・金野峻明・田村盛仁・松永京子  
（オブザーバー：石井喬・吉田真由美・小野立）

### 【議題1】東京同窓会の活動について

東京同窓会としての交流の範囲について見直しを検討した結果、本校の同窓会、秋高連（在京秋田県高校同窓会連合会）総会、市内各高校の同窓会には、今後も会として参加する。ふるさと会については各自個人の資格で参加することとし、本会の会員に掲示板やメンバーリストでふるさと会の情報を流すという形で協力する。

市内各校の同窓会に交流参加の際、参加費用は参加者が負担する。ただし同窓会の経理上は参加者からの寄付という形で記録に残し、参加者（寄付者）を明記する。これにより、交流費が激減する見通し（これまでは参加者に5,000円を助成）、秋高連については人数にもよるが、これに準ずる。

本校行事へ出席の際は、従来通り1名2万円を助成する。

【議題2】広告の取り扱いについて

例年、秋田魁新報社と北羽新報社に年賀挨拶広告を行っているが、これについては両紙とも今年度も継続する。広告の大きさの検討や、各紙に対して東京同窓会行事への協力の働きかけなどは、今後の課題とする。

【議題3】分科会の増設および推進について

現時点では、とくに必要としない。

#### 4．広報委員会からの報告（三浦洋副委員長）

〔出席者〕三浦洋副委員長・福本円  
（オブザーバー：山縣輝輔・太田勝治）

【議題1】平成18年度会報誌の発行について

今年度も会報誌は発行する。  
通信費削減のため、将来的にはインターネットで会報がすべて見られるようにし、紙媒体を減らすという方向で検討したい。  
会報の発送については、昨年度は総会の案内といっしょに郵送したが、今年度は総会来場者には手渡しとする。（会費納入者には送付する）  
総会案内は往復はがき、メール、ファクスを併用したい。  
昨年度の出欠通知はがきのデータは有効に利用する。  
案内文書に幹事が一筆加えることは可能。

会報の発行は、総会の1か月前を目標。

発行まで、2か月に1回程度のミーティングを予定している。

現在の人員では足りないので、手伝ってくれるメンバーを募る。

【議題2】同窓会ホームページの運用について

現在ホームページの内容については三浦洋副委員長、掲示板の管理は袴田邦夫幹事が担当しているが、一人ですべて管理できるのが理想的。  
容量の問題もあるので、いずれ内容、デザインも含めてリニューアルが必要である。とくに内容の若返りとともに、中身の充実がますます求められるので、広く協力を要請したい。当人は若い人や女性を意識したブログを併用する。

#### 5．財務委員会からの報告（片谷浩之委員）

〔出席者〕佐々木章委員長・片谷浩之・淡路和子  
（オブザーバー：菅原渉）

【議題1】平成17年度総会の収支のまとめについて

次回の幹事会までにまとめて配布したい。  
18年度の総会に反映できるようにする。

【議題2】経理勘定項目の分類について

分類は細かく決めておいたほうがいいので、今後検討していく。

【議題3】各人の担当業務について

通帳の管理（入出金）は片谷委員、証憑類の整理や記帳、資料作成は淡路委員が担当する。  
交流費などが必要な場合、事前に連絡をもらえば対応していきたい。

## 6 . 閉会のことば（山縣輝輔監査役）

以上で審議はすべて終了し、議長は閉会を宣した。  
上記の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人はこれに署名する。

なお本日の審議中、幹事会での承認が必要なもの、幹事全員で更に検討を行いたい事項もあるので、本議事録記載事項が全て最終決定では無いことを追記する。

平成18年2月4日

議 長 幹 事 長 菅 原 涉

議事録署名人 総務委員長 大 塚 進

議事録署名人 財務委員長 佐 々 木 章